



2006. 4  
NO. 8

発行：猪苗代湖・  
裏磐梯湖沼水環境保全対策推進協議会  
住所：福島市杉妻町2番16号  
(事務局 福島県生活環境部環境保全領域水環境グループ)  
TEL 024-521-7258 FAX 024-521-7927  
■ホームページ: <http://www.ht-net2.1.ne.jp/kosuikyo/>  
■E-mail: kosuikyo@ht-net2.1.ne.jp

みずみらいつうしん

# 湖美来通信

「次代に残そう紺碧の猪苗代湖、清らかな青い湖。裏磐梯」

## この人に聞く

NPO法人わかば自然染校理事長 福島県環境アドバイザー 小荒井 実さん ..... 2

猪苗代湖の水質3年連続日本一! ~猪苗代湖の水がきれいなワケ  
TOPICS 協議会からの事業報告 ..... 3

裏磐梯高原の楽しみかた ..... 4  
おすすめスポット ..... 5

むかしのはなし「宝の山と唄われた会津磐梯山」 読者プレゼント ..... 6

平成17年度  
猪苗代湖裏磐梯湖沼  
フォトコンテスト  
入賞作品

### 最優秀賞「紺碧の空と湖」

猪苗代湖天神浜付近  
清野 欣子さん(福島市)

#### 優秀賞 (写真左下)

「浮氷」猪苗代湖天神浜  
齋藤 誠さん(郡山市)

#### 入選 (写真右下)

「涼」猪苗代町・逆沢の滝  
川浪 真知子さん(福島市)



湖美来基金は、水環境保全活動を支援しています。



## 猪苗代湖のしぶき氷に 歓声が上がる

寒風吹き荒ぶ天神浜に観光客があふれています。週末の好天の日には駐車場は満杯、道路にまで駐車する混雑となっています。皆さん、一様に「しぶき氷」の見学です。

私が平成7年にしぶき氷の発生を発



NPO法人わかば自然楽校理事長 福島県環境アドバイザー

## 小荒井 実さん

(喜多方市在住)

著作「猪苗代湖の神秘・大発見 しぶき氷の世界」「しぶき氷・猪苗代湖、不思議な氷の世界」ほか

猪苗代湖の冬の造形「しぶき氷」を最初に発見し、そのさまざまな表情を写真に撮り続けてきた小荒井実さんに猪苗代湖のしぶき氷についてお話をお聞きました。

## (この人に聞く)

### 不凍湖に氷の原が広がる

平成5年の厳冬期に磐梯山の白衣の姿を撮影しようとして天神浜を訪ねました。湖岸に出るとそこは一面の氷の原なのです。凍らない湖に広大な氷の原がある、「不思議だ、何故だ」と思いました。ある時、氷の原はどこまで結氷するの

### 氷の世界を知らせたい

会津の高山の雪に関する現象をたくさん撮影してきました。定年退職を機に会津若松市で写真の個展を開くことになり、日ごろから温めてきた「ふる里、雪氷紀行」のテーマで準備をしていた時、部屋中に写真を並べて見たら、何か足りないぞと感じました。「そうだ、しぶき氷の写真がある」と急に思い立つて3点を追加しました。

狭い会場に駄作70点も展示した初日に佐藤福島県知事に参観にきて頂き、これがきっかけでたくさんの方に鑑賞して頂きました。とりわけ注目されたのは、猪苗代湖のしぶき氷の作品です。

人々が見たことのないものを撮ることとはカメラマンの願いです。「このしぶき氷の写真は猪苗代湖のものではない」と私に詰め寄った方もいたほど、猪苗代湖の氷の現象は当時まったく知られていませんでした。この神秘的な氷の世界を皆さんに知らせたい、と強く思いました。

しかし、写真展や講演などでは広く皆さんに知らせることは不可能です。それで、しぶき氷の本を書きたいと思いました。そして、平成11年によく「猪苗代湖の神秘・大発見 しぶき氷の世界」を出版することができ、これを契機に取材を続け、さらに様々な表情

表するまで冬の天神浜を訪れる人は先ず見かけませんでした。今では、冬の観光地となっています。  
しぶき氷は波しぶきが湖岸の樹木や陸上に降りかかり、寒気で結氷することで発生します。枝を包むように着氷し、何と表現したらよいか言葉を見失うほどの氷の造形が連なり、初めて見る人々から感動の歓声が上がります。

か知りたくなり歩いてみると、北は白鳥ヶ浜とわかりました。南はどこまでかと湖岸のヤブをかくぐり、昭和40年代に造られた護岸堤防につきあたりました。そこがしぶき氷の世界だったので。  
堤防場は、光り輝く華麗で幽玄なしぶき氷が散乱し、異次元の世界に迷い込んだと感じました。



しぶき氷

のしぶき氷を発見、その写真を発表することができました。  
私一人の力では何もできませんが、出版社の方や地元の方々のご協力により、猪苗代湖の素晴らしい自然のひとつとして、しぶき氷が広く知られるようになりとても感謝しています。また、これをきっかけに、猪苗代湖の水環境や自然保護へ関心を向けていただければうれしいです。



# 猪苗代湖の水質3年連続日本一！

環境省より毎年公表される、公共用水域水質測定結果で、猪苗代湖が3年連続で「きれいな水」になりました。

●平成16年度湖沼の水質（同順位あり）

順位	湖沼の名称	都道府県	CODの値
1	猪苗代湖	福島県	0.6
1	鏡畑ダム	秋田県	0.6
3	支笏湖	北海道	0.7
3	倶多楽湖	北海道	0.7
5	網取ダム貯水池	岩手県	0.9

## 猪苗代湖の水がきれいなワケ

猪苗代湖が日本一きれいな水質を誇っている秘密は、猪苗代湖に注いでいる「長瀬川」にあります。

長瀬川は猪苗代湖に流れ込む水量の半分を占める河川です。この長瀬川を遡ると、途中で酸川と合流します。酸川は、その名のとおり酸性の川で、このまた支流に硫黄川という川があります。硫黄川の上流は安達太良山の噴火口の西側にあたり、沼尻鉱山跡地でもあります。

ここから湧き出る強酸性の水が、硫黄川、酸川、長瀬川を経て、猪苗代湖

に流入しているため、猪苗代湖の湖水は酸性を示しているのです。

湖に流れ込む酸性の水には鉄やアルミニウムなどの金属が溶け込んでいて、これが湖内で水中のリンなどの汚濁物質を取り込んで浮遊物（フロック）となり、湖底に沈むので、猪苗代湖の水はきれいなのです。

長瀬川以外の流入河川は中性ですから、猪苗代湖の浄化作用にいかにも長瀬川が重要か想像できますね。

猪苗代湖の湖底にフロックが堆積している状態は、湖美来通信No.6でもご紹介しましたが、福島県環境センターのHPでも見ることが出来ます。

[http://www.pref.fukushima.jp/kance/topic/inawashiro/inawashiro\\_movie.html](http://www.pref.fukushima.jp/kance/topic/inawashiro/inawashiro_movie.html)



▲鉄分を含んでいるため、川底が赤茶っぽい（長瀬川）



**こぼれ話その1**  
沼尻鉱山跡から流れ出る酸性の温泉水は沼尻温泉の源流でもありません。酸性含硫黄泉の湯は、「3日入れば一年病まず」と言われ胃腸病や皮膚病に効果があります。

**こぼれ話その2**  
猪苗代湖の水がすべて入れ替わるまで、どの位かかるか想像つきますか？  
長瀬川や舟津川などから流れ込んだ水が、日橋川や安積疏水を通じて流れ出るまでの期間（滞留時間）は、1350日、3年以上といわれています。



▲きれいな水での湖水浴は夏の楽しみのひとつ  
(写真：平成17年度猪苗代湖裏磐梯湖沼フォトコンテスト優秀賞「初泳ぎ」猪苗代湖志田浜 伊藤 留夫さん(大玉村))

### 協議会からの事業報告

※各イベントの様子は、協議会のホームページに掲載しています。



郡山市における猪苗代湖の水利用施設見学と講演、パネルディスカッションを行いました。

○猪苗代湖上流域下流域相互理解交流会  
平成17年12月21日



「きらめく水のふるさと磐梯」湖美来基金・水環境保全活動支援事業の発表と「猪苗代湖岸の植生について」講演を行いました。

### TOPICS

○猪苗代湖裏磐梯湖沼フォーラム  
平成17年10月26日



# 裏磐梯高原の 楽しみかた

## 磐梯山の北に広がる裏磐梯高原

裏磐梯高原は、磐梯山の北の麓に広がる北塩原村の松原地区付近を指し、大小300ものさまざまな湖沼が点在する標高800mの水と緑の美しい高原です。

その誕生は、1888年(明治21年)の磐梯山の噴火によるもので、当時「小磐梯」と呼ばれていた峰が一瞬にして吹き飛び、崩れ落ちた土石流が松原川・雄子沢川などの川を堰き止め、森や溪谷を埋め尽くし、裏磐梯高原を形成しました。

裏磐梯三湖と呼ばれる松原湖、秋元湖、小野川湖はこの噴火により誕生した湖で、まだ生まれて120年ほどの日本で最も若い湖です。

現在の裏磐梯は、裏磐梯三湖の他に、エメラルドグリーンやコバルトブルーの水面が美しい毘沙門沼などの五色沼が景勝地として知られており、また散策しながら

自然を楽しめる多彩な探勝路は野外レクリエーションのメッカとして、誰でも気軽に親しむことができる魅力あふれる地域となっています。



「静かなる裏磐梯」北塩原村松原湖 荻野 保夫さん(いむさひ)

松原湖から見た磐梯山。  
山の一部がえくれ、ゴツゴツした岩肌がむきだしになって噴火の激しさが伺える。  
麓は裏磐梯高原と呼ばれている。

「アサザ咲く水辺」猪苗代湖北岸 鬼多見 賢さん(おにのみ)

猪苗代湖から見た磐梯山。  
優美でやさしい表情をしており、裏磐梯とは対照的。麓は裏磐梯高原と呼ばれている。



## 五色沼

五色沼とは、正しくは「五色沼湖沼群」というべきもので、毘沙門沼、赤沼、みどろ沼、竜沼、弁天沼、瑠璃沼、青沼、柳沼などの湖沼群の総称です。

季節や天候、または見る角度によって微妙に沼の色合いが変化し、独特の雰囲気醸し出しています。

また、新緑の季節や雪景色の中に見る五色沼は、周囲の色とのコントラストも見事で、見るたびに新鮮な感動を与えてくれます。



青沼

## 五色沼の水源

五色沼の水系の一つは磐梯山火口の銅沼(あかぬま)を水源としています。

瑠璃沼の地下から湧き出ていると言われる銅沼の水は、青沼、弁天沼、竜沼、みどろ沼、毘沙門沼と流れ猪苗代湖に注ぎます。

銅沼の水は強い酸性なので、五色沼の多くは酸性を示していますが、地下水路を通じて湖沼群を流れていく間に、他の水系や湧き水、アルカリ性温泉水などと混じり、徐々にその水質を変化させていきます。

この水質の変化が、特徴ある五色沼湖沼群をつくりあげている秘密なのです。



## 色の不思議

青白色やコバルトブルー、暗い空色、濃い緑など、まるで「絵の具を溶かした」ように見える五色沼ですが、もちろん、水そのものに色がついているのではなく、水の中に含まれているアルミニウムなど微粒子の大きさや太陽の当たり方、沈殿物の違いなどによって水面の色が変化していくと考えられています。

ところで、沼の色とその名前は必ずしも一致しているわけではないようです。

例えば赤沼ですが、水面は赤ではなく緑色です。この沼は酸性が強く水中に多く含まれている鉄分が、沼の周囲の植物に付着し、沼の縁が赤錆色に染まっていることから、「赤沼」の名の由来になっています。



赤沼



桜の季節は

さあ春到来です。暖かくて気持ちのいい日はこんな場所に出かけてみませんか。おすすめスポットをご紹介します。

### ○観音寺と観音寺川の桜

(猪苗代町)

猪苗代町川桁地区を流れる観音寺川の両岸、約1kmにわたって桜並木が続きます。見頃は4月下旬からGWにかけて。桜祭りも開催され大勢の人でにぎわいます。

近くにある観音寺の茅葺き屋根の山門も風情があります。



(上)観音寺の山門  
(右)観音寺川の桜



水芭蕉を観賞しながら散策しよう

### ○馬入新田の水芭蕉群

(群馬市湖沼町)

可憐な白い花が4月中旬から5月上旬にかけて咲き誇ります。以前は湖南町の山麓一帯に分布していたそうですが、現在自生しているのはここだけであり、郡山市の天然記念物に指定されています。



磐梯山に登ったら...

### ○弘法清水(猪苗代町)

磐梯山山頂まであと30分という場所であり、岩間から冷たい清水が湧き出ています。

訪れる登山客が必ずといっていいほど、ここで足を止め喉を潤し、水筒に水を汲んで、山頂を目指します。

福島県からのお知らせ

「発見うつくしまの水環境」ホームページの紹介

福島県水環境グループでは、地域の人々に親しまれ、守られてきた湧水や湖沼、水の文化など約170カ所をホームページで紹介しています。福島県には猪苗代湖や裏磐梯湖沼群のほかにもたくさん美しい水環境がありますので、水とのふれあいをぜひ楽しんでください。

[http://www.pref.fukushima.jp/kankyou/mizu/mizu\\_top.html](http://www.pref.fukushima.jp/kankyou/mizu/mizu_top.html)



### 協議会からのお知らせ

#### ★卓上カレンダープレゼント

猪苗代湖裏磐梯湖沼フォトコンテスト作品等を用いた卓上カレンダー(2006年4月〜2007年3月版)を制作しました。

ご希望の方には送料負担のみでお送りしますので、160円分の切手を添えて、事務局までお申し込みください。



卓上カレンダー

#### ★水環境保全事業を支援します

平成18年度「きらめく水のふるさと磐梯」湖美来基金・水環境保全活動支援事業を募集します。

18年度は、湖の水質浄化につながる、より実践的な活動に重点をおいて支援します。

例えば、

- ・水辺の清掃美化活動
- ・植林、植樹など森林整備活動に必要なる軍手、長靴、草刈り鎌などの購入費用を助成します。



#### ●助成額

1団体等あたり20万円以内

#### ●募集期間

5月10日まで





まぶし  
の  
はなし

## 宝の山と唄われた 『会津磐梯山』



**有** 名な民謡「会津磐梯山」に唄われた磐梯山は、会津盆地にひとときわ高くそびえ立ち、昔から信仰の山として会津の人々に慕われてきた山です。  
人々はこの山を慕い、敬い、秋の収穫を祈念して、我を忘れて一晩中踊り明かし、それが民謡「会津磐梯山」の原歌となった、会津磐梯山盆踊りの始まりと云われています。

♪ エイヤー会津磐梯山は、宝の山よ。笹に黄金が成り下がる

エイヤー北は磐梯、南は湖水。中に浮き立つ翁鳥

エイヤー東山から日田の便り

行かざるまい顔見せに

エイヤー主が唄えば

踊りがしまる

やぐら太鼓の音もしまる

エイヤー会津盆地のみどりの夏よ

風もほがらに鶴ヶ城

この歌詞の中に人々の磐梯山に対する思いを伺うことができま

す。  
「宝の山よ」という言葉の中には、人々のその山に対する尊敬の気持ち表れており、「笹に黄金が成り下がる」という意味は、朝露にぬれた笹の葉に日があたり、きらきらと輝き、まさに黄金が山いっばいに広がっている様を唄ったのでしよう。  
また、雄大な磐梯山、神秘的な猪苗代湖も唄われています。

ところで、有名な「小原庄助さん なんで身た上りつぶしたら」で始まるお囃子は最初から唄われていたものではありません。この囃子言葉は、昭和9年に小唄勝太郎という芸者歌手がレコードに吹き込んだ時、はじめて唄われたものです。

レコーディングされた「会津磐梯山」を聞いた会津の人々は、初めて聞くお囃子にとて驚き、中には会津に伝わる民謡を冒涇している、として怒り出す人もいたといいます。

現在では、朝寝朝酒の小原庄助さんのお囃子はすっかり定着し、会津地方だけでなく全国でも唄い踊り継がれています。



会津民謡研究会会長  
鈴木 義人さん

## 読者プレゼント



名水・小野川湧水の自然水仕込み  
会津こしひかり味噌  
500g.....5名

希望される方は、お名前、ご住所、年齢、湖美来クラブ会員番号(加入の方)、よろしければ湖美来通信への「意見などを記入の上、はがき、又はメールで」応募ください。  
応募締め切り/6月15日(木)必着  
当選者には、直接当選の旨、お知らせいたします。また、応募者の個人情報(当選者へのプレゼント以外)には利用いたしません。

【宛先】  
〒960-8670

(〒のみで住所は省略可)  
福島県生活環境部水環境グループ内  
猪苗代湖・裏磐梯湖沼  
水環境保全対策推進協議会事務局  
プレゼント係

E-mail kosuiky@ht-net21.ne.jp

「きらめく水のふるさと磐梯」  
湖美来クラブ会誌募集中!

優れた水環境の猪苗代湖や裏磐梯湖沼群を美しいまま未来の世代へ引き継いで行くため、湖美来クラブ会員を募集しています。【会員特典あり】

◆年会費 個人2千円・法人1万円

問い合わせ先 協議会事務局  
☎024452117258  
FAX 024452117927